【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成24年8月23日(2012.8.23)

【公表番号】特表2011-527618(P2011-527618A)
【公表日】平成23年11月4日(2011.11.4)
【年通号数】公開・登録公報2011-044
【出願番号】特願2011-517612(P2011-517612)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｍ　1/28　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｍ　1/28

【手続補正書】
【提出日】平成24年7月6日(2012.7.6)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
腹膜透析システム（１０）であって、
第１および第２の異なる透析液を用いて治療を実行するようにプログラムされている自動腹膜透析（「ＡＰＤ」）機械（１０４、１０４ａ、１０４ｂ）と、
前記ＡＰＤ機械（１０４、１０４ａ、１０４ｂ）と通信するサーバコンピュータ（１１４、１１８）と
を含み、前記ＡＰＤ機械（１０４、１０４ａ、１０４ｂ）は、前記サーバコンピュータ（１１４、１１８）に、第１の配達期間にわたって、それぞれ、消費された前記第１の透析液および第２の透析液の第１の量および第２の量を通知するようにプログラムされており、前記サーバコンピュータは、消費された前記第１の量および第２の量を用いて、第２の配達期間の間の前記第１の透析液および前記第２の透析液の第１の配達量および第２の配達量を決定するようにプログラムされている、腹膜透析システム（１０）。
【請求項２】
前記サーバコンピュータ（１１４、１１８）は、前記第１の配達期間および前記第２の配達期間の開始時に患者（１０２、１０２ａ、１０２ｂ）に残存されるべき前記第１の透析液および前記第２の透析液のそれぞれの規定された総量を格納するようにプログラムされている、請求項１に記載の腹膜透析システム（１０）。
【請求項３】
前記サーバコンピュータ（１１４、１１８）は、前記第１の配達量および前記第２の配達量を、前記第１の規定された総量および前記第２の規定された総量から、それぞれ、前記第１の配達期間の終了時までに前記患者（１０２、１０２ａ、１０２ｂ）によって用いられない前記第１の透析液および前記第２の透析液の第１の予測される残存量および第２の予測される残存量を減算することによって決定するようにプログラムされている、請求項２に記載の腹膜透析システム（１０）。
【請求項４】
前記サーバコンピュータ（１１４、１１８）は、前記予測される第１の残存量および第２の残存量と、実際の第１の残存量および第２の残存量との任意の差を、前記第２の配達期間の開始時において補償し、その結果、前記患者（１０２、１０２ａ、１０２ｂ）が、前記第２の配達期間の開始時に、前記第１の透析液および前記第２の透析液の規定された

総量を有することが保証されるようにプログラムされている、請求項３に記載の腹膜透析システム（１０）。
【請求項５】
前記ＡＰＤ機械（１０４、１０４ａ、１０４ｂ）は、前記予測される残存量のいずれかと実際の第１の残存量および第２の残存量との差が存在する場合でさえ前記第１の配達量および前記第２の配達量を配達し、その結果、前記第１の透析液および前記第２の透析液の一方または両方に対する結果として生じる総量がそれぞれの規定された総量とは異なるように構成され、前記サーバコンピュータ（１１４、１１８）は、１つ以上の結果として生じる総量を用いて、次の配達期間の間の１つ以上の予測される残存量を計算する、請求項３に記載の腹膜透析システム（１０）。
【請求項６】
前記サーバコンピュータ（１１４、１１８）は、前記第１の配達期間の間の前記規定された第１の総量および第２の総量から、前記第１の配達期間の間の第１の消費された量および第２の消費された量を減算することにより、前記第２の配達期間の間の前記第１の予測される残存量および第２の予測される残存量を計算するように構成されている、請求項５に記載の腹膜透析システム（１０）。
【請求項７】
前記サーバコンピュータ（１１４、１１８）は、前記第１の配達期間の間の少なくとも１つの調整された第１の規定された総量および第２の規定された総量から、前記第１の消費された量および前記第２の消費された量のうちの少なくとも１つを減算することにより、前記第２の配達期間の間の前記第１の残存量および前記第２の残存量のうちの少なくとも１つを計算するように構成されている、請求項３に記載の腹膜透析システム（１０）。
【請求項８】
個人用情報端末（「ＰＤＡ」）を含み、前記少なくとも１つの調整された第１の規定された総量および第２の規定された総量は、配達人により、前記ＰＤＡを介して、前記サーバコンピュータ（１１４、１１８）に通信される、請求項７に記載の腹膜透析システム（１０）。
【請求項９】
前記ＡＰＤ機械（１０４、１０４ａ、１０４ｂ）は、前記少なくとも１つの調整された第１の規定された総量および第２の規定された総量を、前記サーバコンピュータ（１１４、１１８）に通信するように構成されている、請求項７に記載の腹膜透析システム（１０）。
【請求項１０】
前記第１および第２の異なる透析液は、
（ｉ）異なるブランドの透析液と、
（ｉｉ）異なるグルコースレベルの透析液と
のうちの少なくとも１つである、請求項１に記載の腹膜透析システム（１０）。
【請求項１１】
前記第１の透析液および前記第２の透析液は、第１の識別子および第２の識別子とともにパッケージされ、前記ＡＰＤ機械（１０４、１０４ａ、１０４ｂ）は、前記第１の識別子および前記第２の識別子を読み取るように構成されている、請求項１に記載の腹膜透析システム（１０）。
【請求項１２】
前記第１の識別子および前記第２の識別子は、
（ｉ）無線周波数識別タグと、
（ｉｉ）バーコードと
からなるグループから選択されるタイプの識別子である、請求項１１に記載の腹膜透析システム（１０）。
【請求項１３】
腹膜透析システム（１０）であって、

複数の自動腹膜透析（「ＡＰＤ」）機械（１０４ａ、１０４ｂ）と、
前記ＡＰＤ機械（１０４ａ、１０４ｂ）と通信するサーバコンピュータ（１１４、１１８）と
を含み、前記ＡＰＤ機械（１０４ａ、１０４ｂ）は、前記サーバコンピュータ（１１４、１１８）に、第１のＡＰＤ供給物配達期間にわたって、どの程度の透析液が消費されるかを通知するようにプログラムされており、前記サーバコンピュータ（１１４、１１８）は、前記消費される透析液の量を用いて、第２のＡＰＤ供給物配達期間の間の前記複数のＡＰＤ機械（１０４ａ、１０４ｂ）に対して配達される複数のＡＰＤ供給物を決定するように構成されている、腹膜透析システム（１０）。

【請求項１４】
前記ＡＰＤ機械（１０４ａ、１０４ｂ）は、それぞれ、前記透析液のパッケージ上に配置された識別子を読み取るように構成されている、請求項１３に記載の腹膜透析システム（１０）。

【請求項１５】
前記サーバコンピュータ（１１４、１１８）は、各ＡＰＤ機械（１０４ａ、１０４ｂ）に対して、前記第１のＡＰＤ供給物配達期間および前記第２のＡＰＤ供給物配達期間の開始時に患者（１０２、１０２ａ、１０２ｂ）に残存されるべき透析液の規定された総量を格納するようにプログラムされている、請求項１３に記載の腹膜透析システム（１０）。

【請求項１６】
前記サーバコンピュータ（１１４、１１８）は、各機械に対する前記ＡＰＤ供給物配達量を、それぞれの規定された総量から、前記第１のＡＰＤ供給物配達期間の終了時までに前記患者（１０２、１０２ａ、１０２ｂ）によって用いられない透析液の予測される残存量を減算することによって決定するようにプログラムされている、請求項１５に記載の腹膜透析システム（１０）。

【請求項１７】
少なくとも２つのＡＰＤ機械（１０４ａ、１０４ｂ）に対する前記規定された総量が異なる、請求項１５に記載の腹膜透析システム（１０）。

【請求項１８】
前記ＡＰＤ機械のうちの少なくとも１つに対する遠隔サーバコンピュータは、調整された消費された透析液の量を、前記第１のＡＰＤ供給物配達期間に対する規定された総量から減算することによって、前記第２のＡＰＤ供給物配達期間に対する透析液の残存量を計算するようにさらに構成されている、請求項１３に記載の腹膜透析システム。

【請求項１９】
個人用情報端末（「ＰＤＡ」）を含み、前記調整された消費された透析液の量が、前記少なくとも１つのＡＰＤ機械に対する配達人によって前記ＰＤＡを介して前記サーバコンピュータに通信される、請求項１８に記載の腹膜透析システム。

【請求項２０】
前記少なくとも１つのＡＰＤ機械は、前記調整された消費された透析液の量を前記サーバコンピュータに通信するように構成されている、請求項１８に記載の腹膜透析システム。

【請求項２１】
前記ＡＰＤ供給物配達期間が毎月である、請求項１３に記載の腹膜透析システム。

【請求項２２】
前記規定された総量の透析液は、（ｉ）複数の標準限外濾過（「ＵＦ」）処方治療、（ｉｉ）少なくとも１つの高ＵＦ処方治療、および（ｉｉｉ）少なくとも１つの低ＵＦ処方治療に対する透析液を含む、請求項１５に記載の腹膜透析システム。

【請求項２３】
透析システムであって、
複数の透析機械と、
前記透析機械と通信する遠隔サーバコンピュータと

を含み、前記透析機械は、前記遠隔サーバコンピュータに、第１の透析供給物配達期間にわたって、どの程度の透析流体供給物が消費されるかを示すパラメータを通知するようにプログラムされており、前記遠隔サーバコンピュータは、前記パラメータを用いて、第２の透析供給物配達期間の間に、どの程度の前記透析流体供給物が前記複数の透析機械に対して配達されるかを決定するように構成され、前記透析流体供給物は、使い捨てポンプ構成要素または透析流体構成要素容器のうちの少なくとも１つを含む、透析システム。

【請求項２４】

前記パラメータは、用いられる透析流体構成要素容器の数を含む、請求項２３に記載の透析システム。

【請求項２５】

前記透析流体供給物が、腹膜透析流体供給物である、請求項２３に記載の透析システム。

【請求項２６】

透析システムであって、

透析機械と、

前記透析機械と通信する遠隔サーバコンピュータと

を含み、前記透析機械は、前記遠隔サーバコンピュータに、第１の透析供給物配達期間にわたって、どの程度の透析流体供給物が消費されるかを示すパラメータを通知するようにプログラムされており、前記遠隔サーバコンピュータは、前記パラメータを用いて、第２の透析供給物配達期間の間に、どの程度の前記透析流体供給物が前記透析機械に対して配達されるかを決定するように構成され、前記透析流体供給物は、使い捨てポンプ構成要素または透析流体構成要素容器のうちの少なくとも１つを含む、透析システム。

【請求項２７】

前記パラメータは、用いられる透析流体構成要素容器の数を含む、請求項２６に記載の透析システム。

【請求項２８】

前記透析流体供給物が、腹膜透析流体供給物である、請求項２６に記載の透析システム。

【手続補正２】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図２Ｂ

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図２Ｂ】

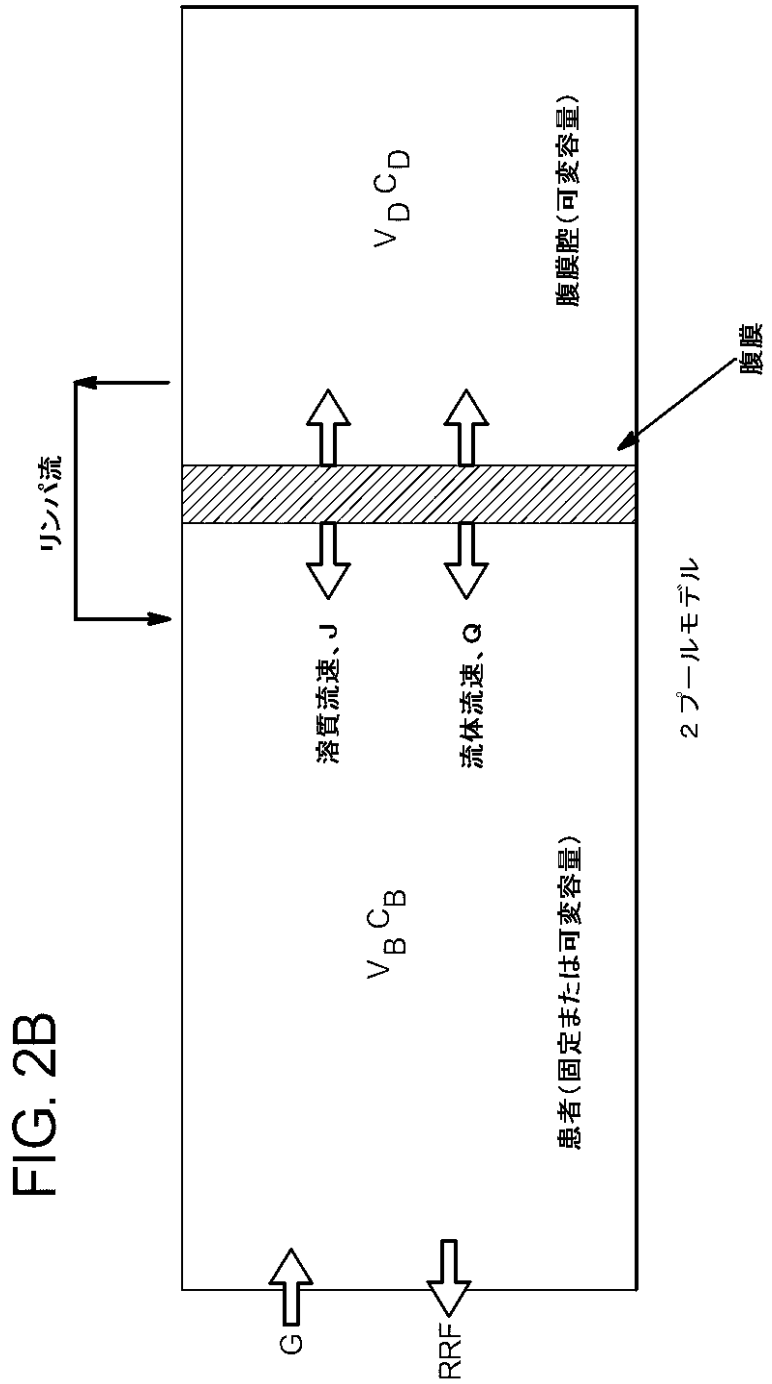
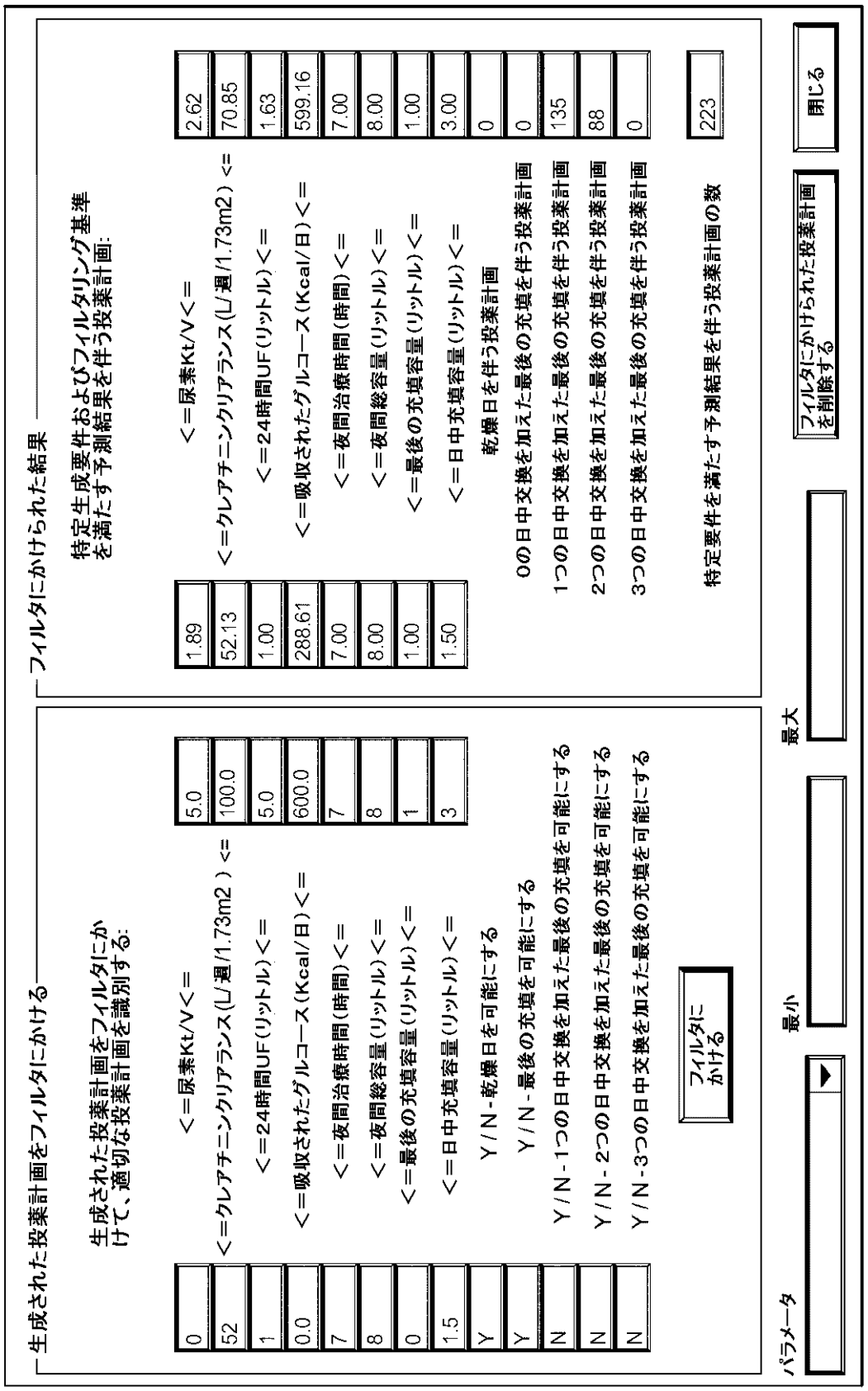


FIG. 2B

【手続補正３】
【補正対象書類名】図面
【補正対象項目名】図９Ａ
【補正方法】変更
【補正の内容】

【図９Ａ】

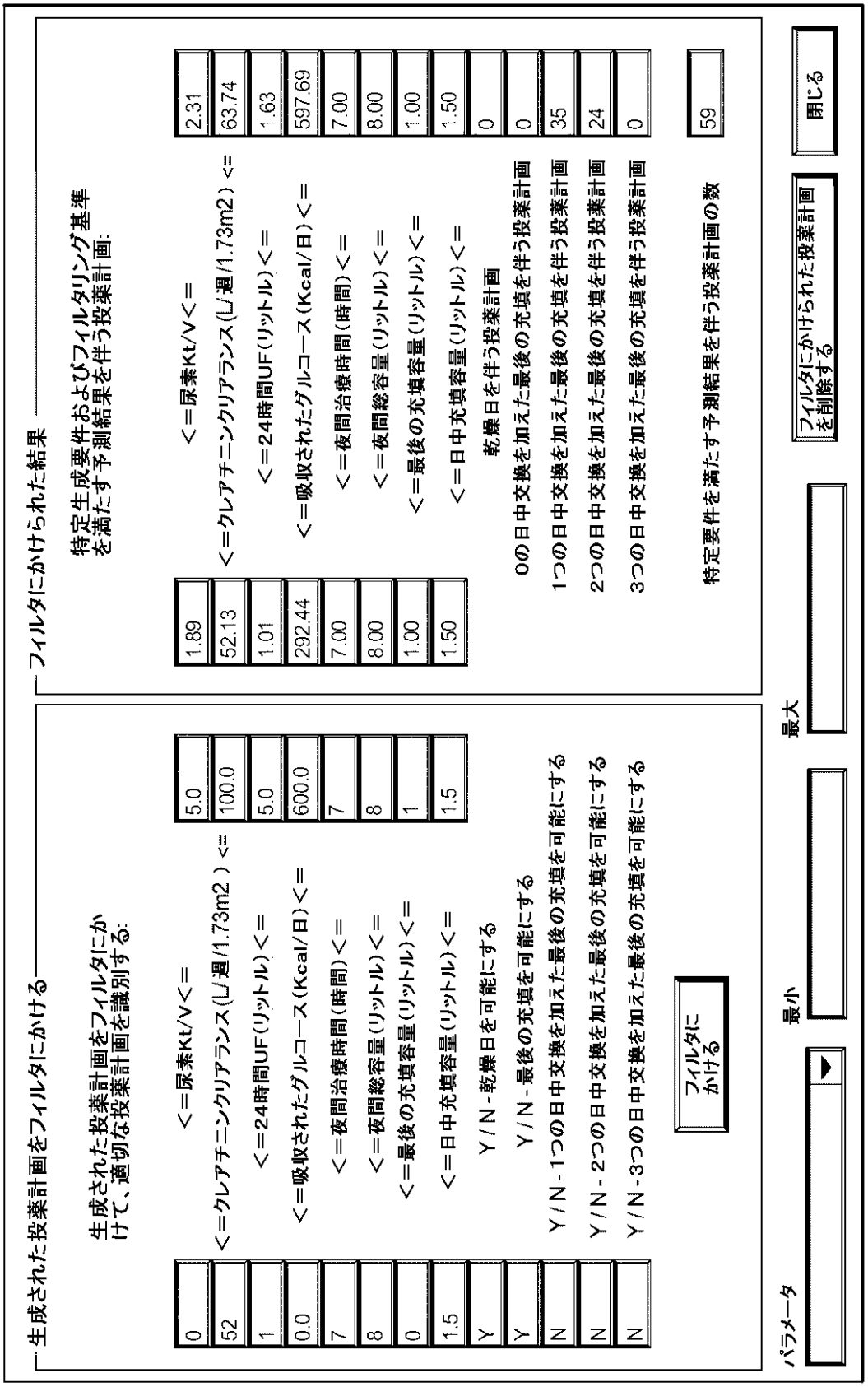
FIG. 9A



【手続補正４】
【補正対象書類名】図面
【補正対象項目名】図９Ｂ
【補正方法】変更

【補正の内容】
【図９Ｂ】

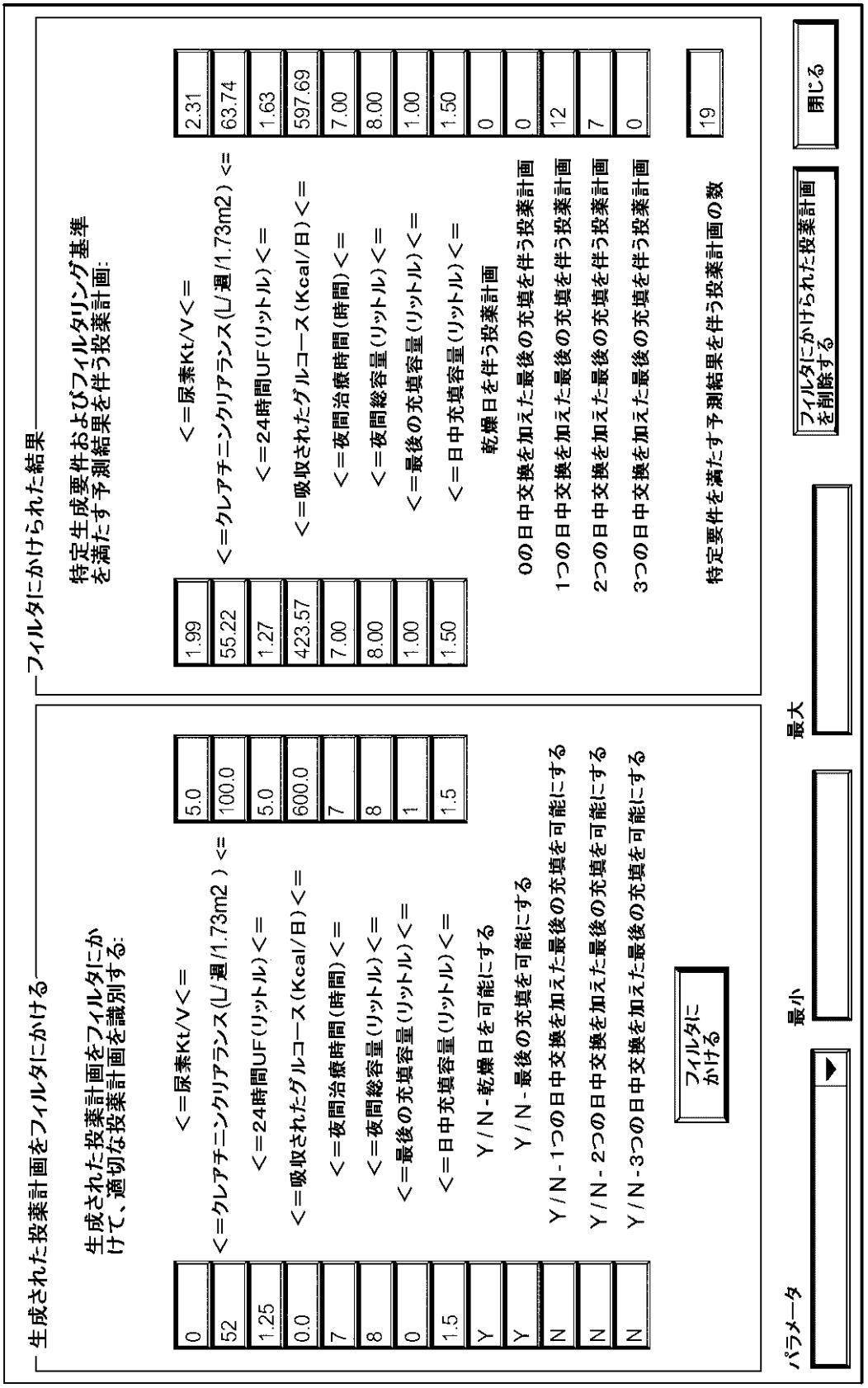
FIG. 9B



【手続補正５】
【補正対象書類名】図面
【補正対象項目名】図９Ｃ
【補正方法】変更

【補正の内容】
【図９Ｃ】

FIG. 9C



【手続補正６】
【補正対象書類名】図面
【補正対象項目名】図９Ｄ

【補正方法】変更
【補正の内容】
【図９Ｄ】

FIG. 9D

